

なるほど!
ザ・ファンド



Vol.190

Q.

物価上昇による「お金の価値の目減り」に対処する方法は？

A.

対処方法の一つに資産運用があります。お金の価値を維持するために、金融資産に占める「運用資産の割合」と「必要な利回り」を考えていきましょう。

仮に、物価が継続的に年2%上昇する中、何も対処しなかった場合には、実質的なお金の価値は減少してしまいます。こうしたお金の価値の減少への対処方法の一つとして資産運用があります。ただし、金融資産に占める「運用資産の割合」によって、お金の価値を維持するための「年間収益率（必要な利回り）」は変わってきますので、「運用資産の割合」を考えていくことが重要です。

物価が年2%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸） 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	906	910	913	915	920	929	938	947	952
2%	906	915	920	925	934	953	972	991	1,000
3%	906	920	927	935	949	978	1,007	1,036	1,050
4%	906	925	935	945	965	1,004	1,043	1,082	1,102
5%	906	931	943	956	981	1,031	1,081	1,131	1,156
6%	906	936	952	967	998	1,059	1,120	1,181	1,212
7%	906	942	960	979	1,015	1,088	1,161	1,234	1,270
9%	906	955	979	1,003	1,052	1,150	1,247	1,345	1,394
11%	906	968	999	1,030	1,092	1,216	1,340	1,464	1,526
13%	906	982	1,020	1,058	1,135	1,287	1,440	1,592	1,669
15%	906	997	1,043	1,089	1,181	1,364	1,547	1,730	1,822

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約906万円に！

300万円（30%）を運用した場合、約6%超で運用しないとお金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年2%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は利率0%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください

物価が年3%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合 (横軸) 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	863	867	869	871	876	885	893	902	907
2%	863	872	876	881	890	907	925	943	952
3%	863	876	883	890	904	931	959	986	1,000
4%	863	881	891	900	919	956	993	1,031	1,049
5%	863	886	898	910	934	982	1,029	1,077	1,101
6%	863	892	906	921	950	1,008	1,067	1,125	1,154
7%	863	897	915	932	967	1,036	1,106	1,175	1,210
9%	863	909	932	956	1,002	1,095	1,188	1,281	1,327
11%	863	922	951	981	1,040	1,158	1,276	1,394	1,454
13%	863	935	972	1,008	1,081	1,226	1,371	1,517	1,589
15%	863	950	993	1,037	1,124	1,299	1,473	1,648	1,735

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約863万円に！

500万円 (50%) を運用した場合、6%で運用しないとお金の価値は減少してしまう

物価が年5%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

〈 1,000万円に占める運用資産の割合 (横軸) 〉

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	784	788	790	792	796	804	812	819	823
2%	784	792	796	800	808	824	841	857	865
3%	784	796	802	808	821	846	871	896	908
4%	784	801	809	817	834	868	902	936	953
5%	784	805	816	827	848	892	935	978	1,000
6%	784	810	823	837	863	916	969	1,022	1,049
7%	784	815	831	847	878	941	1,004	1,067	1,099
9%	784	826	847	868	910	995	1,079	1,163	1,206
11%	784	837	864	891	945	1,052	1,159	1,267	1,320
13%	784	850	883	916	982	1,114	1,246	1,378	1,444
15%	784	863	902	942	1,021	1,180	1,338	1,497	1,576

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約784万円に！

900万円 (90%) を運用した場合、6%で運用しないとお金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年3%、年5%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は利率0%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会